

介護経営白書2013

年度版

イノベーションによる 介護市場の活性化と サービス革命

介護を“成長産業”にするための「戦略と実践」

編集委員代表 ● 江草安彦 日本介護福祉経営人材教育協会代表理事

編集委員 ● 青木正人 株式会社ウエルビー代表取締役

川淵孝一 東京医科歯科大学大学院教授

企画・制作 ● ヘルスケア総合政策研究所



2025年へ向けて、
これからの介護業界に求められる
ヒト、モノ、カネ、情報

各省庁が描く高齢者向け新施策と将来展望

異業種参入で、シニア・ヘルスケア市場はどう変わるのか！

介護人材・育成「再元年」——成長産業の担い手とは

介護事業に本格進出する医療機関、その狙いと動向

地域密着でリードする先進事例と介護保険外サービス

Case4

利用者が自費で選ぶ「指名制ヘルパー」

手厚いケアで全額利用者負担
ユニークな「自費サービス」

特定非営利活動法人グレースケア機構

専門誌はもとより、多くの一般マスコミにも取り上げられ話題となった100%利用者負担による業界初の在宅サービス事業。仕掛け人の柳本文貴・グレースケア機構代表は、制限が多く財源も不安定な現行の公的保険制度に依存した事業内容では介護職の健全な発展はありえないとし、利用者ニーズに合わせた質の高いケアサービスで新たな市場の掘り起こしを目論む。その運営内容を取材した。

事業収益の7割は自費サービス

給料が安い、人材が育たない、社会的評価が低いなど、需要が増えているにもかかわらず、ヘルパーをめぐる状況は依然、厳しいままだ。具体的な打開策が見出せないなか、“10年先を見据えた”画期的試みとして注目されるのが、利用者の自費負担による「指名制ヘルパー」事業だ。特定非営利活動法人グレースケア機構（東京都三鷹市）の柳本文貴代表は、同事業の狙いをこう説明する。

「公的保険制度のなかだけで行うサービスは利用者・提供者双方にとって制限が多過ぎます。やりたいことができない、報酬も頭打ちで上がらない、モチベーションも上がらない。ならば、サービス内容をもっと手厚く豊かなものにして、報酬もきちんと上げていき、優秀な人材を確保・育成していくという好循環をつくり出したいという思いで始めました」

障害者施設、グループホームなどで長年福祉事業に関わってきた柳本代表は、2006（平成18）年のマイナス報酬改定の惨状を目の当たりにし奮起。三鷹市が開催したビジネスコンテストで事業プランを披露し入賞したのを機に、市のSOHOオフィスを借り、2008（平成20）年に同法人を設立。ユニークな利用者負担100%の在宅サービス事業に着手した。



柳本文貴代表

同事業のシステムはいたってシンプルだ。基本となる自費サービスでは、複雑な制限を持たせず、生活援助・身体介護、認知症ケア、医療的ケアなどのほか、付き添い、買い物代行から趣味のお相手、金銭管理、家族調整まで「必要なとき、必要なだけ。生活の困りごとから楽しみごとまで、暮らしを支える」あらゆるケアサービスを利用者の希望に合わせて提供する。基本料金（ショートプラン A）は1時間 3,150 円（税込）。看護、リハビリ、外国語、IT スキルなどスタッフの特別な技能や経験・資格を要するケアについては、1時間 1,050 円（税込）を加算。定期的にサービスを提供するベーシックプランやオプションサービスなどもある（表）。

現在 47 人の登録ヘルパーが、同法人のホームページで経歴・資格と、パソコン、中国語、旅行プランニング、料理といった得意分野を記した自身のプロフィールを顔写真入りで公開。利用者はそれを見て好みのヘルパーを選択することができる。ヘルパー指名をする際は、通常料金の 20% が指名料として追加される。

2010（平成 22）年から介護保険事業所としての指定を受け、現在は、公的保険サービスとの“混合サービス”という形で利用者負担の軽減を試みているが、事業収益における比率は、公的保険が 3 割で自費が 7 割だという。

月 120 万円で手厚いサービスを受ける利用者も

気になるのは、全額自己負担への利用者の反応だ。

「1割負担の介護保険サービスに比べれば割高感があるとか、お金持ちしか利用できないということをよく言われます。確かにそういう面もありますが、一方でみんな一律で、しかもあれもだめ、これもだめといった介護保険サービスに不満を持つ利用者の方もたくさんいらっしゃいます。医療的ケアや 24 時間の長時間ケアなどは需要が高く、ヘルパー側も提供したいのに事業所側が断っている。内容によって差はありますが、ニーズは非常に高い」（柳本代表）

夫が脳内出血で倒れたうつ病の奥さんのケアや、緊急を要するのに親族がみな高齢で動けないなど、公的保険では臨機応変に対応できない事例は多い。公的保険をすべて使った上でさらに自分の納得のいくサービスを求めてきた終末期の利用者などもおり、なかには月 120 万円の出費で手厚いサービスを受ける例もあったという。



ホームページにアップされた登録ヘルパー。
柳本代表のネットワークおよび公募から選ばれる

その一方で、障害を持つ女性利用者からイケメンの男性ヘルパーに指名がかかるなど、利用者ニーズはまさに十人十色だ。ヘルパーには利用料の約6割を還元。なかには月40万円を稼ぐ人気スタッフもいるという。

今後の展開について、柳本代表はこう力説する。

「ヘルパーが不足しているのに給料が上がらない現状はおかしい。いまのままでは10年先、20年先まで介護保険制度がもたないことはみんな気づいているはず。サービスにお金を使っていたくことは、良いヘルパーを育てるといふ社会への投資。弁護士のようにフリーの「独立型介護福祉士」が活躍する時代がくると良いですが、そのためにもこの事業をもっと広げていきたい」

財政難で保険外サービスへの期待が高まるなか、柳本代表の戦略が介護事業の今後に一石を投じることは間違いなさそうだ。

【サービス料金例】

- ①ショートプランA 3,150円/60分
(お出かけ/通院の付き添い/家事代行/仕事や趣味の援助/病氣や障害に応じたサポート、ほか)
 - ②ショートプランB 4,200円/60分
(スタッフの特別な技能や経験・資格によるケア/パソコン等の活用援助/秘書アテンド業務全般、ほか)
 - ③ベーシックプラン 1万6,800円/月
月4回(90分/回)または月2回(180分/回)
(通院付き添い/外出付き添い/家事支援/身体介護/認知症ケア/見守り支援/家族支援、ほか)
 - ④オプションサービス
 - ・24時間オンコール(緊急時対応、付き添いほか) 8,400円/月
 - ・宿泊プラン 24,800円/12時間
 - ・オプションプラン 2,940円/60分
- *いずれも税込み。夜間(18~22時)・早朝(6~8時)は25%増、深夜(22時~翌6時)は50%増

特定非営利活動法人グレースケア機構

住所：東京都三鷹市下連雀 3-17-9

TEL：0422-70-2805 <http://g-care.org/>